

南京大虐殺は本当にあつたのか!

ファイジング・サン

あまりにも
ショッキングな
事件の数々から、
あなたは…

不許可

RISING SUN



製作■エド・コン・ロバート・エンテルソン
監督■エド・コン
編集■ロバート・エンテルソン

日本語版監修■小笠原基生
ナレーター■金内吉男

日本ヘルル・映画配給■アーヴィング・レオ・エンターフライズ提供 L.o.



■歴史の眞実に挑む 衝撃のフィルム！

戦後35年。いま、一本の作品が風化しかけた戦争体験に強烈なストップをかける。

「ライジング・サン」。大東亜共栄の名のもとに、広大な中国大陸に怒濤のごとくなだれこんだ日本帝国陸海軍。一九二〇年から四半世紀。彼らが中国大陸に残した足跡、そこで行つたこととは一体何だったか？

アメリカ国防総省、英國立軍事博物館、全米フィルム協議会、ムービートーン・ニュース：長年秘匿されてきた貴重なフィルムの数々が、歴史の眞実を白日にさらすために発掘された。『蘆溝橋事件』、『南京大虐殺』、『パネー号事件』、『東京裁判』——果して眞相は巷間伝わる通りのものだったのか？

これは単なる戦争記録フィルムではない。幾多の謎に充ちた日中及び太平洋戦争を決定的に検証するための驚くべき資料なのだ！

■香港・東南ア諸国で 史上空前の大ヒット！

ブルース・リーやジャッキー・チエンばかりが香港映画ではないことを証明したのがこの「ライジング・サン」だ。今年の二月から五月にかけて、香港10館以上でロングランされ、またたく間に興収10億円を突破。かの「007」や「ジヨーネ」もマッ青という空前の大ヒット。

しかも、その興行たるや、かつてない異様さ。日本軍によるあまりの残虐シーンの数々に、見終つて出てきた若者たちは異口同音に「家に帰つて、あらゆる日本製品をぶつ壊してやる！」

だが問題は、この騒ぎをもたらしたフィルムが眞実だという確証がない点にある。フィルムの裏に秘められた眞実をあなた自身の目で判断してほしい。

逃げ回る中国人親子、追いかける日本軍兵士。やがて幼い男の子が空中に放り投げられ、それを銃剣が無惨にも突き刺す。思わず目をおおう残虐シーン。この作品のハイライトである「南京大虐殺」のヤマ場だ。だが事件には謎が多い。虐殺による正確な死者の数があいまいなこと。それらのフィルムがあまりにも都合よく撮られている点……。作家の鈴木明氏ははつきりと否定する。「問題のフィルムはあとから撮り直して追加されたものではないか」。もう一つ、問題の史実にパネー号事件がある。南京陥落直後、揚子江上に繫留していたアメリカの居留民引揚用砲艦パネー号が日本海軍機の爆撃で沈没した。パネー号の回りに集まつた中国避難船を中国軍と見間違えたためだが、いまでは反日の気運をあおるためのアメリカの誘発行動という見方が極めて強い。ともあれ、あなたは、これらのフィルムを見てどんな判断を下すだろうか――！

■謎を呼ぶ「南京大虐殺」 果して眞相は！



近日衝撃のロードショー

●特別鑑賞券1100円(一般1400円の処)発売中！

新宿京王 (356)
3518

平日	12:30	2:40	4:50	7:00
日・祝	10:20	12:30	2:40	4:50